

DFL7161 停電対策装置【特別付属品】搭載時の漏電ブレーカ変更のお知らせ

対象機種

停電対策装置（以降、UPS）を搭載した DFL7161

お知らせ

2021 年以降、UPS【特別付属品】のモデルを切り替えさせていただいておりますが、切り替え後の新モデルでは、前モデルに比べ、漏れ電流が微量に増加することが判明しました。それにより、DFL7161 に新モデルの UPS（MSP832SFEAH2T-CPN）を搭載した場合、漏電ブレーカがトリップする可能性があります。

対策として、UPS（MSP832SFEAH2T-CPN）搭載時の漏電ブレーカを変更します。また、漏電ブレーカの変更に伴い、定格感度電流が変わるため、以下の通りお知らせします。

機種	定格感度電流 (変更前)	定格感度電流 (変更後)	対応開始時期
DFL7161 (UPS 搭載あり)	50 mA	100 mA	2023 年 4 月以降に出荷する機械 から順次、切り替えを実施
DFL7161 (UPS 搭載なし)	50 mA	50 mA (変更なし)	変更無し

【変更による影響】

定格感度電流を変更しても、機械の安全性能には影響はありません。

漏れ電流の増加量は、約 5 mA（容量性）であることを確認しています。お客様の設備側で漏れ電流を集中管理している場合、設備側から警報が出る可能性があります。弊社営業担当にお問い合わせください。

ご使用中の機械への対応

・既に UPS を搭載している機械をご使用中の場合

対象機：2021 年 10 月以降、または PA2115 以降の UPS を搭載した機械

本案件の対象のお客様には、弊社から個別にご連絡いたします。現状、ブレーカがトリップする問題が発生していない機械は、ご使用を継続いただいて問題ありません。

・現在、ご使用中の機械に UPS を搭載する場合

UPS 変更の改造時に、機械の漏電ブレーカも併せて変更いたします。

関連ニューズレター

停電対策装置（N11A502DHR-Type／N11A502DVR-Type）の生産中止について
(<https://www.disco.co.jp/jp/support/condition/doc/TNL2021-0007j.pdf>)

お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当、またはカスタマーエンジニアまでお願いいたします。